

差別をなくする市民のつどい



▲阿波木偶箱廻しを復活する会の皆さんによる講演 (11/20 西条会場)

▼落語家・露の団六さんによる講演 (12/3 東予会場)



◀ナースログ・アンドの皆さんによる人権コンサート (12/4 小松会場)

9月開催の丹原会場に引き続き、差別をなくする市民のつどいが市内3会場で開催されました。西条会場では差別で消えた伝統芸能の復活に向けた取り組みについての講演、東予会場ではダウン症の兄と家族との関わりについての講演、小松会場では歌に託して差別解消への想いを伝える人権コンサートが行われました。

12/4 西条市丹原町産業まつり

丹原総合支所駐車場で開催された「丹原町産業まつり」では、採れたての農産物などの展示即売や商店連盟等による商品市などが行われました。恒例の餅投げも行われ、大勢の買い物客や家族連れで賑わっていました。



12/16 「食の総合研究所」創設に向けて検討委員会を開催



地域再生計画「西条市食品加工流通コンビナート構想」の行動計画を検討する委員会(委員長:東京農業大学・山本出名誉教授)が産業情報支援センターで開催されました。委員会では「食の総合研究所(仮称)」創設に向けての意見交換が行われました。

Camera まちのわだい Spot

11/18 さだまさし・佐田玲子 トークLIVE



エフエム愛媛公開録音「さだまさし・佐田玲子トークLIVE」を総合文化会館で開催しました。2002年にも同公開録音で西条市を訪れた、さだまさしさんと佐田玲子さんは「西条の水はおいしい」と絶賛。伊藤市長も交えて「ふるさとからの便り」をテーマに、軽やかなトークが繰り広げられました。トークの後は、さだ兄妹によるアコースティックLIVEもあり、満員の客席からは、盛大な拍手がわきあがっていました。

12/4 カブトガニフェスティバル



東予郷土館で開催されたカブトガニフェスティバルでは、「干潟の機能」と題して愛媛大学沿岸環境研究センター・大森浩二助教授による講演会が行われました。その後、カブトガニ幼生飼育説明会があり、新たに15人の幼生飼育ボランティアが誕生しました。

11/30 東予港港湾計画の早期実現めざして総決起大会

愛媛県が平成17年5月に改訂した東予港港湾計画の早期実現を図るため、200企業・10団体が会員となって同年10月に発足した「東予港港湾整備促進期成同盟会」による総決起大会が開催されました。



大会では船舶の大型化に対応した岸壁や耐震強化岸壁の整備、津波・高潮対策の防波堤整備などについて、早期実現に向け国や県に要望していくことが決議されました。